

2/24 コサージュに感謝を込めて

登龍中学校の2年生がプリザーブドフラワーなどのアレンジメントを手掛ける株式会社メリエンダの方を講師に招き、コサージュ作りを行いました。

コサージュは卒業する3年生に贈られるもので、この取り組みは2009年度から行われています。2年生は、お世話になった先輩へ、これまでの感謝や祝福の気持ちを込めながら手作りし、3年生はその想いを胸に卒業式に臨みました。



▲先輩の卒業式に、文字通り花を添えます

3/10 楽しいミニトマトの収穫

ふたばこども園の年長児20人が、戸田豊和さんの「むすぶ農園」でミニトマトの収穫体験をしました。

園児たちは大喜びで、その場で収穫したミニトマトを口に運び「美味しい!」「3つも口の中に入れちゃった」「トマト好き!」などと笑顔いっぱい話してくれました。

戸田さんは「地元での美味しい記憶は、大人になっても忘れないと思います。成長して、町外に出ていくことがあっても、美味しい食べ物がある地元に戻りたいと思ってくれるきっかけの一つになってくれればうれしいです」と話されました。



▲収穫後にビニールハウスの前で記念撮影

3/10 文部科学大臣賞受賞

登龍中学校2年の浅野紫音さんが第68回多度大社奉納書初め大会の小・中学校の部において、最高の文部科学大臣賞を受賞されました。

浅野さんは「賞をいただけてうれしかったです。良い字を書くコツは、先生の字をお手本にしながら落ち着いて書くことです。これからも書道を続けて、更に良い字が書けるようになりたいです」と話してくれました。

浅野さんは、小学校3年生の頃から祖母と一緒に書道教室に通われているそうです。



▲奉納された作品と同じ字を書いてきてくれました

3/15 中部メイカン創立45周年

南條に安八物流センターを置く、株式会社中部メイカン（本部 岐阜市柳津町）から創立45周年を記念し、町へ45万円のご寄附をいただきました。

小寺仁太郎創業者会長は「4月で45周年を迎えます。ひとえに皆さまのおかげです。安八町の物流センターは2015年に完成し、スマートインターチェンジを利用してセンターから2分で高速道路へ乗れるので大変便利です。今後も長く一緒に発展していきたいです」と話されました。



▲小寺創業者会長と堀町長